

経営者の皆様に、次への視野(スコープ)を。
毎月、かんぽ生命がお届けします。

かんぽスコープ

Vol.96

経営
時流

事業承継

継ぐ側の目で見てもみよう。

は、ベンチャー型こそ本来の姿だ。

ましてね。それで、父がいかに品質を大切にしているか、仕事をしてきたか、身に



山野氏は、社史などの受託制作を手がける千年治商店の社長も務める。

昨年(2017年)の7月に中小

企業庁が策定した「事業承継5ヶ年計画」その冒頭で、「ベンチャー型事業承継」という聞き慣れない言葉が異彩を放っています。帝国データバンクの調査*でオーナー企業の約7割が後継者不在とされる現状を開く力が、この手法にこそあると中小企業庁は見ているのか。「ベンチャー型事業承継」の提唱者、山野千枝氏(近畿経済産業局「Next Innovation」事務局ディレクター)に話を伺いました。

暗くて重い事業承継に、ベンチャーの輝きを。

「7割が後継者不在というデータですが、そのうちの多くが思い込みかもしれませんよ」

関西大学などで「後継者ゼミ」を開講する山野氏は、経営者の家に生まれた学生たちと接してきた実感が



右がナンガ社長の横田氏。ダウンは国内精製、縫製は自社工場と徹底的に国産にこだわっている。(http://nanga-schlaf.com)

*大阪産業創造館発行「Bplatz press」より転載。

らそう指摘する。親は、事業に成長性が乏しいからと、気兼ねして会社の話をしない。子も、期待されると困るので自分からは口に出さない。互いに遠慮し合い、家業の話題がアンタッチャブルになっていて、「うちの子は継ぐ気がない」と決めてかかっているケースが多いという。子にとって、家業の存在は確かに重たい。

「でも、継いだ会社で新規事業を起こしたり、業態を転換したりして成功した二代目・三代目をたくさん見ました。彼ら彼女らは、まるでベンチャー起業家のようにです」

ダウンジャケットに賭けた(株)ナンガの挑戦。

山野氏の言葉を裏づける事例として、リーズナブルかつ高品質な国産ダウンジャケットで急成長する株式会社ナンガ3代目、横田智之社長を紹介してもらった。

ナンガは、布団の縫製加工で1941年に祖父が創業。80年代後半に、2代目社長の父がダウン(羽毛)を使ったシュラフ(寝袋製造へと事業を切り換えた。

横田氏は、「長男だから、いずれは継がなければいけないのかな」と案じつつ、いったんは就職。3年たった頃、父に呼ばれて入社し、すぐに全国営業に送り出された。シュラフのことなど何も知らないままだった。

「逆に、得意先から『ナンガの良さは使えば分かるよ』と教えてもらい

が変わるのではと、山野氏は「ベンチャー型事業承継」のスローガンを考えた。しかも事業承継の場合、会社には事業のベースがあり、ゼロからの起業と比べて格段に有利だ。

「新しいことにチャレンジするとき、本当は、こんなに恵まれた環境はないんです」



関西学院大学での「後継者ゼミ」。

株式会社千年治商店 〒659-0074
兵庫県芦屋市平田町2-7-706
連絡先 info@1000nenji.com
http://1000nenji.com/

め、09年に独自ブランドを立ち上げると、15年には直営店を出店。現在は年間5万着を製造し、売上の7割を占めるまでに成長している。

後継者の活躍を支える、現役社長のミッション。

横田氏は、「もし起業で始めていたら、1回目の損失は200万円では済まず、2回目の挑戦はありえなかった」と、家業の基盤の上で分野に進出したメリットを語る。

加えて山野氏は、「再挑戦を許したお父さまの存在も大きい」と評価する。家族だから失敗を受け入れ、そして何より、家業を引き継いでいく希望があるから新陳代謝を促す試みをお押ししたのだろうと語る。思い返せば父も、祖父の事業を転換しつつ受け継いできたのだ。だから、親と同じ仕事をするのが事業承継ではないと、お子さんに伝えてほしいのです。

子は、全てを受け継がなければならぬと思ひ込み、重圧に感じているかもしれない。「ここで何をしてもいいんだ」と分かれば、家業を前に引きに捉える気持ちが湧いてくる。そしてもうひとつ、横田氏が営業を通じて自社の強みと特長を知ったことも貴重な教訓だ。

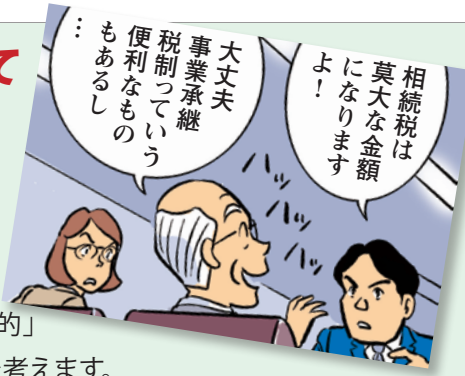
「家業は、何らかの価値を秘めているから今日まで続いてきたのです。その価値に気がつけば、子どもは自然に継ごうとするものですよ」

円滑な事業承継へ向けて準備は始めていますか？

後継者が困らないように、そして存分に力を発揮できるように、事業承継へ向けた環境を整える。

「事業承継のタイミング」と「準備の目的」

に応じて、必要になる資金の備え方を考えます。



ぜひご覧ください

マンガで楽しく、分かりやすくご案内しています。

かんぽビジネスライブラリ
「事業承継のために」の巻



資料をご要望の皆さまへ

ご覧の資料をお届けします。
ご要望の方は、お手数ですが、かんぽ生命保険の最寄りの支店までご連絡ください。



病気のサインを見逃すな！

顔色、表情の異変

文=石原結實
イシハラクリニック院長、長崎大学医学部卒業、同大学院博士課程修了。医学博士。著書は「病気のサインを見逃すな！自分でできる健康診断」など300冊超。

血液の流れが悪いと、顔色は赤くなる
医師ではない一般の方々も、「血色が良く、お元気そうですね」「お顔の色が悪いようですが、ご体調はいかがですか？」などと、顔色から相手の健康状態を把握することがあるでしょう。顔は血液の流れが体の中でも豊富な場所なので、その状態を読み取りやすいのです。

貧血の白っぽい顔、腎臓病や肝臓病が疑われる黄色や黒ずんだ色の顔など、いわゆる顔色の悪さは何らかの病気の予兆であることは周知のことでしょう。しかし、血色が良いと思われがちな赤ら顔にも注意が必要です。ピンク色の健康的な赤みではなく、どす黒さを伴う赤さであれば、漢方医学ではその症状を「瘀血」といいます。「瘀」とは滞るという意味で、血液の流れが悪い状態を指しているのです。

顔が赤くなるのは、血液の流れを良くしようと血管が拡張され、表皮から透けて見えるためです。血流不全の状態を放置すれば、脳梗塞や心筋梗塞、がんなど大病を患いやすくなるので、体を冷やさないように心がけ、十分な運動を励行するなど血流の改善に努める必要があるでしょう。

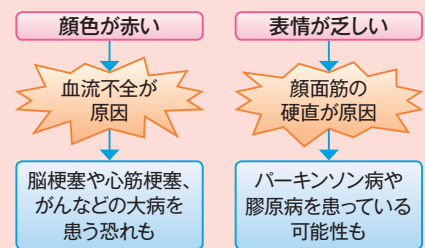
表情の乏しさは、パーキンソン病や膠原病の恐れ

顔色だけでなく、表情の異変も病気の重大なサインです。パーキンソン病は、脳の黒質が変性し、運動の指令を出すドーパミン神経が減少することによって起きる病気で、筋肉の緊張や動作の遅滞などの症状が出ます。顔面筋が硬直するようになると表情が乏しくなり、ひどくなると能面のように表情のない顔貌（仮面様顔貌）になります。皮脂腺の分泌亢進のため、テカテ

カと油を塗ったような顔面になることもあります。

仮面様顔貌は、膠原病の一種である強皮症にも見られる症状です。膠原病の場合、このほかにも、皮膚が硬くなり委縮する、シワが増える、口を十分に閉じられず常に歯が突き出た状態になるなど特徴的な症状があるので、パーキンソン病とは鑑別がつくでしょう。

顔に表れる病気のサイン



(注)

記事中に記載の法令や制度等は取材当時のもので、将来変更されることがあります。詳細につきましては、各専門家にご相談いただきますようお願いいたします。

Copyright © 2018 JAPAN POST INSURANCE Co.,Ltd All Rights Reserved.

(2018.1.1)